

○ 別表 1 (学部の学科、研究科の専攻等の定員未充足の状況について)

学部の学科、研究科の専攻等名	収容定員	収容数	定員充足率
	(a)	(b)	(b)/(a)×100
<工芸科学部>	(人)	(人)	(%)
応用生物学課程	200	228	114.0
生体分子工学課程	-	6	-
生体分子応用化学課程	102	121	118.6
高分子機能工学課程	102	118	115.7
物質工学課程	134	153	114.2
応用化学課程	338	355	105.0
電子システム工学課程	244	286	117.2
情報工学課程	244	280	114.8
機械システム工学課程	-	14	-
機械工学課程	344	389	113.1
デザイン経営工学課程	80	96	120.0
造形工学課程	-	6	-
デザイン・建築学課程 (H30 募集停止)	232	286	123.3
デザイン・建築学課程 (H30 募集開始)	312	323	103.5
学部共通 (3年次編入学)	100		
(夜間主コース)			
先端科学技術課程	-	5	-
学士課程 計	2,432	2,666	109.6
<工芸科学研究科>			
応用生物学専攻	80	61	76.3
材料創製化学専攻	66	73	110.6
材料制御化学専攻	64	67	104.7
物質合成化学専攻	66	60	90.9
機能物質化学専攻	64	60	93.8
電子システム工学専攻	100	112	112.0
情報工学専攻	92	106	115.2
機械物理学専攻	74	72	97.3
機械設計学専攻	60	66	110.0
デザイン経営工学専攻	-	2	-
デザイン学専攻 (H30 募集停止)	-	4	-
デザイン学専攻 (H30 募集開始)	90	98	108.9

建築学専攻	142	180	126.8
京都工芸繊維大学・チェンマイ大学	8	8	100.0
国際連携建築学専攻			
先端ファイブプロ科学専攻	70	72	102.9
バイオベースマテリアル学専攻	44	32	72.7
修士課程 計	1,020	1,073	105.2

学部の学科、研究科の専攻等名	収容定員	収容数	定員充足率
<工芸科学研究科>			
生命物質科学専攻	-	2	-
バイオテクノロジー専攻	18	29	161.1
物質・材料科学専攻	39	35	89.7
電子システム工学専攻	15	7	46.7
設計工学専攻	30	30	100.0
造形科学専攻	-	3	-
デザイン学専攻	15	19	126.7
建築学専攻	21	25	119.0
先端ファイブプロ科学専攻	24	42	175.0
バイオベースマテリアル学専攻	18	13	72.2
博士課程 計	180	205	113.9
専門職学位課程 計			

○ 計画の実施状況等

学士、修士、博士の令和元年5月時点の合計は、定員充足率90%以上を満たしている。

○ 別表2 (学部、研究科等の定員超過の状況について)

(平成28年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち									超過率算定の対象となる在学者数 (L) 【(B)-(D,E,F,G,I,Kの合計)】	定員超過率 (M) (L) / (A) × 100
			外国人留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学者数 (G)	留年者数 (H)	左記の留年者数のうち、修業年限を超える在籍期間が2年以内の者の数 (I)	長期履修学生数 (J)	長期履修学生に係る控除数 (K)		
				国費留学生数 (D)	外国政府派遣留学生数 (E)	大学間交流協定等に基づく留学生等数 (F)							
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学部	2,501	2,724	41	3	9	0	58	141	116	0	0	2,538	101.5%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	1,190	1,293	130	38	1	31	57	68	61	0	0	1,105	92.9%

○計画の実施状況等

工芸科学部、工芸科学研究科ともに定員超過率 (M) は110%未満である。

(平成 29 年度)

学部・ 研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち									超過率算定 の対象となる 在学者数 (L) 【(B)-(D,E,F,G,I,Kの合計)】	定員超過率 (M) (L) / (A) × 100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)	長期 履修 学生数 (J)	長期履修 学生に係る 控除数 (K)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留學 生数(E)	大学間交流協 定等に基づく 留学生等数 (F)							
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学部	2,459	2,676	40	4	9	0	50	131	104	0	0	2,509	102.0%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	1,200	1,291	130	38	1	32	65	60	51	0	0	1,104	92.0%

○計画の実施状況等

工芸科学部、工芸科学研究科ともに定員超過率 (M) は110%未満である。

(平成 30 年度)

学部・研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち									超過率算定の対象となる在学者数 (L) 【(B)-(D,E,F,G,I,Kの合計)】	定員超過率 (M) (L) / (A) × 100
			外国人留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学者数 (G)	留年者数 (H)	左記の留年者数のうち、修業年限を超える在籍期間が2年以内の者の数 (I)	長期履修学生数 (J)	長期履修学生に係る控除数 (K)		
				国費留学生数 (D)	外国政府派遣留学生数 (E)	大学間交流協定等に基づく留学生等数 (F)							
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学部	2,432	2,669	59	7	11	3	42	124	96	0	0	2,510	103.2%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	1,200	1,294	126	43	0	32	55	58	53	0	0	1,111	92.6%

○計画の実施状況等

工芸科学部、工芸科学研究科ともに定員超過率 (M) は110%未満である。

(平成 31 年度)

学部・ 研究科等名	収容定員 (A)	収容数 (B)	左記の収容数のうち									超過率算定 の対象となる 在学者数 (L) 【(B)-(D,E,F,G,I,Kの合計)】	定員超過率 (M) (L) / (A) × 100
			外国人 留学生数 (C)	左記の外国人留学生のうち			休学 者数 (G)	留年 者数 (H)	左記の留年者数の うち、修業年限を 超える在籍期間が 2年以内の者の数 (I)	長期 履修 学生数 (J)	長期履修 学生に係る 控除数 (K)		
				国費 留学生数 (D)	外国政府 派遣留学 生数(E)	大学間交流協 定等に基づく 留学生等数 (F)							
(学部等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学部	2,432	2,666	71	7	18	12	46	115	93	0	0	2,490	102.4%
(研究科等)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)
工芸科学研究科	1,200	1,278	110	39	0	27	52	50	45	0	0	1,115	92.9%

○計画の実施状況等

工芸科学部、工芸科学研究科ともに定員超過率 (M) は 110%未満である。